



GPのエンド臨床を加速する

アドバンスエンド ハンズオンセミナー

お申込用QR



第2期

2024年 7月27日(土) 13:00~17:00
7月28日(日) 10:00~16:30

《会場》 ケーオーデンタル株式会社 東京営業所
《受講費》 ¥220,000(税込)
《定員》 15名

《お問い合わせ先》
ケーオーデンタル株式会社 セミナー販促課
TEL 03-3344-1188

歯科医師向き

現代の歯内療法における基礎及び臨床研究は幅広く成果を上げており、いかにして治療を成功に導くのかという疑問に対しては概ねスタンダードテクニックといえるものが明らかにされています。しかしその一方で、具体的な手法や治療器具について広くコンセンサスの得られたベストとされるものは、一切確立されていないのがまた現状でもあります。それは臨床症例それぞれが均一化できるようなものではなく、感染状態も様々であり、単に一つ考え方や治療器具で全てが解決できるほどシンプルなものではないからです。そのような中において、私たちが歯内療法臨床の質を高めるために、何ができるのでしょうか。何よりもその治療を妨げている感染源を除去するために、使えるものはすべて使い、できることはすべて行うという考えで対応しなければなりません。NiTiロータリーファイルの応用もその手段の一つです。近年のNiTiロータリーファイルの進化は、従来のものとは比較にならないほどの柔軟性と高い破折抵抗を達成しました。NiTiファイルでありながらプレカーブを付与可能であり、そのまま回転させても根管形態を破壊しないHyflex EDMのような先進的ファイルが開発されたのです。そうした器具を適切に使用することにより、これまでの超弾性を有するNiTiでは治療困難であったステップを有する症例等の、いわゆる難症例に対してより安全に、より歯質を保存した根管拡大形成が達成できるようになったのです。このような近年の新しいNiTiファイル開発は、従来の根管拡大形成の概念にパラダイムシフトを起こしつつありますが、同時に細菌学的な問題も抱えていると考えています。本セミナーでは、最新NiTiロータリーファイルの有効性や問題点を踏まえた上で、それらを適切に応用することにより、これまではこの足を踏んでいたような「少し難しい症例」を攻略する方法を学んでいただきます。溢れる最新情報に惑わされることなく、あくまでも基本手技を重視しつつ、「難症例エンド」というテーマと一緒に考える時間にできれば幸いです。

《コース内容》

day 1

- イントロ症例提示
(Initial treatmentとRetreatmentは同じ考えてよいのか)
- 根管拡大形成のパラダイムシフトとNiTiロータリーファイルの現在
- 感染根管を治療に導くために必要な細菌学的視点と手技について
- Hyflex EDMと症例提示

day 2

- HyFlex EDM解説
- HyFlex EDMベーシックハンズオン J字根管模型実習
- 湾曲根管模型実習
- 分岐根管模型実習
- 根管充填概説
- シングルポイント根管充填実習
- パーフォレーションリベア実習
- 再根管治療概説
- 再根管治療用模型実習
(ガッタバーチャ除去からステップ根管の拡大)



《コースディレクター》



阿部 修 先生

医) 平和歯科医院
東京都武蔵野市開業
歯学博士
東京歯科大学非常勤講師
関東歯内療法学会常任理事